

## 学術情報リテラシー能力修得の到達目標(島根大学医学部)

【情報リテラシー能力とは】  
「課題を認識し、その解決のために必要な情報を探索し、入手し、得られた情報を分析・評価、整理・管理し、批判的に検討し、自らの知識を再構造化し、発信する能力」  
(『高等教育のための情報リテラシー基準』より)

情報探索のプロセス	医学1～3年、看護学1～2年	医学4～6年、看護学3～4年、 医学修士課程、看護学博士前期課程	医学博士課程、 看護学博士課程後期、 臨床研修医、職員
課題を認識する	課題の意図を正しく理解できる	課題に沿ったテーマを設定できる 自分の設定したテーマについて他の人に説明できる	自ら調査・研究テーマを設定し、仮説を立てることができる
情報探索を計画する	課題を解決するために必要な情報の範囲を把握することができる 一般図書・参考図書・雑誌(論文)・新聞(記事:原紙、縮刷版、データベース)・視聴覚メディア・インターネット等、 情報・メディアの種類や特性を説明できる	調査テーマに関する先行事例の調査方法を説明することができる 学術情報がどのように生産され、流通しているかを説明できる 信頼性の高い情報を選択できる 課題に応じてメディア(図書・雑誌・新聞・視聴覚メディア・インターネット・人的情報源)を選択することができる。特に論文・記事と図書・雑誌の違いを説明できる 課題に応じて適切なデータベースを選択することができる	専門分野における学術情報の流れを説明できる 専門分野の情報探索に適したツールを選択できる
情報を探索する	検索行動において、適切なキーワードを使用することができる レファレンスサービスを利用することができる	文献検索の検索語(同義語・類義語・表記のゆれ・上位語・下位語)を工夫できる。 論理演算子(AND OR NOT)を活用できる。 望ましい情報が得られなかった場合、行った検索プロセスを評価し、データベース・検索式・キーワードなどを見直すことができる 履歴検索、シソーラスを用いた検索ができる ワイルドカードを活用できる Ezproxyを利用することができる	専門分野の情報探索に適したツールで情報を検索することができる
情報を入手する	図書館における資料の配置・分類法を説明できる 検索した資料が実際に配架されている場所へ行き、資料を手に入れることができる 貸出中の本館蔵書、あるいは医学図書館所蔵の図書について、MyOPACを経由して予約・取り寄せの申込みができる	参考・引用文献リストを適切に読み取り、調査に活用できる オープンアクセスおよび島根大学が購読している電子ジャーナルについて、公開ページへアクセスし、論文PDFを手に入れることができる 附属図書館が所蔵している雑誌に収録されている論文について、島根大学のOPACへアクセスし、配架場所を確かめた上で手に入れることができる 島根大学が所蔵していない場合に、ShimaneLinksを用いて文献複写・現物貸借の申込みをすることができる	
情報を分析・評価し、整理・管理する	情報を取捨選択し、活用できるように整理できる MyOPACにログインし、自身の貸出情報、予約情報を確認することができる MyOPACから貸出期限の延長をすることができる	文献管理ツールを用いて、医中誌Web、PubMedといったデータベースから文献情報をインポートすることができる	文献管理ツールの機能を用いて、Word等の文書ファイルに参考文献を挿入することができる
情報を批判的に検討し知識を再構造化する	入手した情報、データおよび意見を比較・分類して、自らの考えと類似する点や違う点を説明できる	選択した情報、データおよび意見を自分の文脈で意味づけ、自分の言葉で説明できる	得た情報、データおよび意見を一般的な概念として構成し、それを新たに適用することで知識として再構成できる
情報を活用・発信し、プロセスを省察する	レポートの一般的な体裁に従って執筆をすることができる 情報の典拠を明示し、適切に引用できる 自らの考えを、論拠を示しながら論理的に発表できる 著作権・個人情報保護等の情報倫理に留意できる	学術論文の構成に沿った文章を記述できる 情報の典拠を明示し、適切に引用できる 提出先が指定した通りの方法で正しく引用し、参考・引用文献リストを作成できる	自分が発信した情報・論文を評価できる 投稿先の雑誌を評価できる